

出雲圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】令和2年3月2日（月）19時00分～21時00分

【場所】出雲保健所 大会議室

【出席者】各病院長、医師会長、訪問看護ステーション、介護保険施設代表者、健康保険関係者、出雲市等

【議事内容】

1. 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について
2. 老人保健施設と病院の連携について
3. 救急医療と地域の連携について
4. 地域医療総合確保基金事業について
5. 来年度に向けて
6. 報告事項
 - ・医師確保計画・外来医療計画について
 - ・新型コロナウイルス感染症について
 - ・各機関からの情報提供について

【主な意見・協議結果について】

1について

- ・令和2年1月17日付け医政発0117第4号厚生労働省医政局長通知に基づき協議を行った。求められている内容に沿って出雲市立総合医療センター及び、保健所より分析データと再検証提出案を提示し、意見交換を行った。
- ・出雲市立総合医療センターについては、地域医療構想の策定前より圏域内の医療機関と機能分担を図り、ダウンサイジング及び圏域で不足する機能への転換を進めてきていること、平田地区の救急から慢性期までの幅広い医療の拠点として大きな役割を担っていることを確認し、現在の医療機能を継続する必要があるという意見でまとまった。
- ・当圏域の2025年の医療提供体制や4機能別の病床数については、保健医療計画、地域医療構想に示されていること、それに基づく協議を調整会議（医療・介護連携専門部会）で進めており、引き続きその取組を継続することを確認した。

2について

- ・老健と病院の連携のあり方について、出雲市医療介護連携課より取組と今後の方向性について示された。老健や病院へのヒアリング、話し合いを重ねた結果、各機関で情報提供内容のばらつきがある等様々な課題があることがわかり、来年度作成する「出雲市

入退院連携ガイドライン」の中に、それらの課題についても盛り込む予定である。

- ・上記取組を通じて連携がさらに深まり、老健が中間施設としての機能が発揮できるよう、関係機関で協力して取り組んで行くことが確認された。

3について

- ・ACPの考え方が示される中で、全国的に救急隊が傷病者の家族等から心肺蘇生の中止を求められる事案が生じている。それを受けて消防庁救急企画室長より、医療と介護の連携に関する協議の場に消防が積極的に参加するよう通知が出された。当圏域においても同様の事柄が起きており、消防より検討の必要性を提示された。次年度より本部会に消防本部からも委員として参画いただき、このことについて検討することを確認した。

4について

- ・島根県立中央病院より、地域医療総合確保基金の申請を行いたい旨の提案があった。病床削減に伴う新たな機能の整備であり、調整会議として合意することを確認した。

5について

- ・来年度に向けて病床機能ごとの方向性を確認した。

○高度急性期・急性期

高度急性期医療機関間の機能調整について協議を進めていく。

高度急性期・急性期・地域包括ケア病棟の連携について協議を進めていく。

○回復期

転換による増床を目指す。

地域包括ケア病棟のサブアキュート機能の強化に向けて検討する。

○慢性期

医療区分1の人の受け皿の実態を把握し、今後の病床のあり方について検討する。

介護医療院について知識の共有化を図る。

○在宅医療

病院を中心とした在宅医療の体制整備を進める。

かかりつけ医による在宅医療の後方支援体制を強化する。

出雲市在宅医療・介護連携推進事業との連携を深める。

○救急と地域との連携を新たな取組として深めていく。

6について

- ・医師確保計画・外来医療計画は現在パブコメを終了し意見を踏まえて作成中である。部会で提出した内容は盛り込まれている。
- ・新型コロナウイルス感染症については、現在の状況について説明し対応について確認した。
- ・島根大学医学部附属病院から最新治療について、出雲市民病院から病床の見直しについて報告された。

